

再ライニングで給水管延命を

NPCパイプライニング協会 高い技術信頼度で施工増加

築39年目で2回目の更生工事

西原グリーンハイツ 22年前にライニング実施

給水管延命工法の中で、管内のさびを研磨材で除去した後に管内塗装するライニング工事は、広く普及している最もポピュラーな工法といえる。このライニング工法の主流工法団体の一つであるNPCパイプライニング協会によると、さらなる給水管延命のために再度、ライニング工事を実施するマンションが増加している。同協会が会員が工事を実施したマンションを訪ねた。

1回目施工に対する高い評価

東京都西東京市の西原グリーンハイツ住宅 80年築の8階建て12棟・720戸の大型団地管理組合法人は昨秋、給水管専有部の再ライニング工事を実施した。

更新との金額比較、室内リフォーム増への対応難等で決定

「住戸内給水・給湯管更新工事に関する検討会」を立ち上げ、18年度の工事実施を目指した。更新と更生をさまざまな方面から検討した。更新も露出の場合、美観上もさることながら、耐震強度への影響が危惧された。床下配管の多額の費用、室内リノ工場の実施を決定できず、同管理組合は今年4月、施工を決定した。

現工法元の京浜管鉄工業(本社東京)が、ライニング工事を実施している。採用された工法は建設技術評価制度で評価された「NPC工法」だ。

NPC協会は現在、同工法に加え、技術審査証明工法である「NPBⅡ」「NPBⅢ」「NPBⅣ」で給水管延命対策に取り組んでいる。西原グリーンハイツは2015年度から問題と平行して建て替え勉強会もスタートさせた。建て替えを実現したためだ。

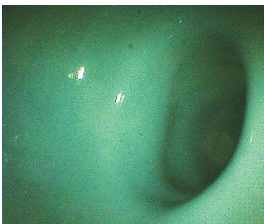
同管理組合法人は同問題と平行して建て替え勉強会もスタートさせた。建て替えを実現したためだ。

1996年に実施して以降22年間、漏水等のトラブル報告が一切なかったためだ。

再ライニングに採用された工法は「NPBⅡ」だ。独自のピグ方式を採用、ピグを往復させて均一な塗膜と平滑な塗膜を形成させる。特にエルボ部分の確実な塗膜形成に大きな特徴を持つ。

同管理組合法人は給水管改修工事を終え、長期修繕計画見直し検討会を発足した。給水管対策の次回は更新を計画に入れてい

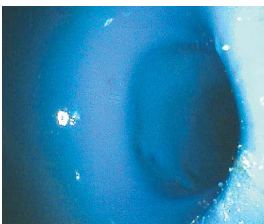
施工前



クリーニング後



施工後



た」と話す。施工業者は5社が入札、1回目にライニング工事を実施した京浜管鉄工業に決定した。なお、給湯管対策は診断結果から先送りとなった。

NPCパイプライニング協会

配管延命で豊富な実績と経験

NPC工法

NPLⅢ工法
審査証明第1002号-B号

更生工事の決定版

NPBⅡ工法
審査証明第1001号-B号

NPBラピッド工法
審査証明第1201号-A号

NPCパイプライニング協会

事務局 〒101-0047
東京都千代田区神田2-6-6 第2築田ビル3F
TEL.03-3525-4244 FAX.03-3254-7742

正会員

日本軽窓株式会社
建築工業株式会社
株式会社総和プラント
株式会社大勝テック
株式会社キョーエイ・エンジニアリング
株式会社協和日成
株式会社パイブ技研

株式会社畑中工業
株式会社トーションテックス
株式会社タイコー
有限会社那須美
大協和工業株式会社
株式会社幸進
ライノセラズ総業株式会社
株式会社中部パイプライニング
大阪ガスリノテック株式会社

株式会社カンプロ
株式会社日本パイプクリーニング
有限会社バイオニア産業
株式会社吉崎商会
株式会社日丸商会
株式会社島工業
トーエイライニング株式会社
タサダ工業株式会社

賛助会員

日米レジン株式会社

工法元

京浜管鉄工業株式会社



東京都西東京市の西原グリーンハイツ。築39年、8階建て12棟、720戸の大型団地